

10/30(日)の行事



報道発表資料の配付日時 10月18日(火)

発表項目	「蒼いウランバートル緑化技術セミナー」の開催について
概要	<p>○ 北海道が構成団体となっている「蒼いウランバートル技術支援実行委員会」は、2012年の設立以降、モンゴル国において、北海道が有する寒冷地に適した苗木生産・植林技術の定着に向けた支援事業を実施してきました。</p> <p>○ この度、モンゴルから事業関係者を5名招き、北海道とモンゴルにおける緑化に関する技術交流の取組について紹介するセミナーを次のとおり開催します。</p> <p>日 時:令和4年10月30日(日)</p> <p>場 所:札内コミュニティプラザ 中川郡幕別町札内青葉町311番地11</p> <p>参加者数:約50名</p> <p>主 催:蒼いウランバートル技術支援実行委員会 構成団体:NPO法人日本モンゴル文化経済交流協会、 (一社)北海道造園緑化建設業協会、北海道緑生会、 (公社)北海道森と緑の会、 (地独)北海道立総合研究機構 林業試験場、 北海道水産林務部</p> <p>内 容:・講演「十勝地方の飛砂被害の現状と防風林の効果、 防風林管理が育む生物多様性」 ・事例発表「モンゴルにおける緑化事業の今」 ※別添チラシを参照ください</p>
参 考	○ 本事業は、(公社)国土緑化推進機構の「森と水の森林ファンド」助成事業により実施しています。
報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク 記者レク
その他	
担 当 (連絡先)	北海道十勝総合振興局産業振興部林務課 (担当:主査(木育推進)石井令子) TEL 0155-66-4383(直通)



「森と水の森林ファンド」助成事業

蒼いウランバートル緑化技術セミナー

「蒼いウランバートル技術支援実行委員会」は、2012年の設立以降、モンゴル国において、北海道が有する寒冷地に適した苗木生産や植林技術の定着に向けた支援事業を実施してきました。

今回、モンゴルから事業関係者を5名招き、北海道とモンゴルにおける緑化に関する技術交流の取組についてご紹介します。

日時

令和4年(2022年)10月30日

13:00~16:30(受付12:30~)

日(SUN)

会場

札内コミュニティプラザ

北海道中川郡幕別町札内青葉町311番地11

※ お車でお越しの場合は、東側駐車場をご利用ください。

定員

約50名

講演

「十勝地方の飛砂被害の現状と防風林の効果、防風林管理が育む生物多様性」

速水 将人 氏

(地独)北海道立総合研究機構 林業試験場 研究主任

参加費

無料

事例発表

「モンゴルにおける緑化事業の今」

オユングレル

ADILBISH OYUNGEREL 氏

ジャブザンドラム

NARMANDAKH JAVZANDULAM 氏



主催: 蒼いウランバートル技術支援実行委員会

構成団体: NPO法人日本モンゴル文化経済交流協会、(一社)北海道造園緑化建設業協会、北海道緑生会、公益社団法人北海道森と緑の会、(地独)北海道立総合研究機構 林業試験場、北海道(水産林務部)

後援: 幕別町

モンゴル(ウランバートル市)について

モンゴルの人口は約330万人で、その4割以上が首都ウランバートル市に集中しています。首都ウランバートル市の緯度はおよそ北緯48度で、北海道稚内市(北緯約45度)よりやや北に位置しています。標高は1,300mと高く、年平均気温は0℃、年平均降水量は約250mmの寒冷乾燥地です。

昨年(2021年)、モンゴルのオフナー・フレルスフ大統領は、第76回国連総会で気候変動、砂漠化対策に最適な方法は植林であると強調し、「10億本の植林」全国植樹運動が本格的にスタートしました。

今年(2022年)、日本とモンゴルの外交関係樹立から50年の節目を迎え、林外務大臣がモンゴルで記念植樹を行うなど、両国間の交流が今後一層深まることが期待されています。

蒼いウランバートル技術支援実行委員会の取組

年	時期	内 容
1992 ～		民間と北海道立総合研究機構 林業試験場を中心にモンゴル国にサクラの植樹支援を実施。
2011	10月	植林の推進を始めたモンゴル国の要請を受けた在大阪モンゴル国名誉領事館から北海道立総合研究機構宛てに専門家の派遣要請があり、ウランバートル市などに技術者を派遣し、状況調査や指導等を実施。
2012	5月	モンゴル国立庭園公園における大規模植林計画の実施に当たり、ウランバートル市の要請を受けた日本モンゴル文化経済交流協会が北海道に対し技術支援を要請。
	7月	モンゴル国ウランバートル市における植林技術支援事業を実施するため、「蒼いウランバートル技術支援実行委員会」を設立。
2013 ～ 2015		JICAの草の根技術協力事業によりモンゴルにおける苗木の生産技術及び植林技術の確立、技術者の育成を目的として、現地研修、道内研修などを実施。
2016 ～ 2021		(公社)国土緑化推進機構の緑の募金公募事業により現地研修などを実施。



モンゴルからの参加者の紹介

オウンゲレル ADILBISH OYUNGEREL 氏	2016年から事業に参加、現在は個人で苗木生産、樹木管理に従事
ジャブザンドラム NARMANDAKH JAVZANDULAM 氏	2014年の来道研修から事業に参加、現在はモンゴル国境の植林のための苗木生産に従事
バトツェツェグ DUGERJAV BATTSETSEG 氏	ウランバートル市役所(国立庭園公園を有するバヤンズルフ区)職員、2016年から事業に参加
オヤンガ GANKHUYAG UYANGA 氏	モンゴル国立庭園公園事務所の職員、2017年から事業に参加
シュレンチメグ MUNKH-ERDENE SHURENCHIMEG 氏	モンゴル国立庭園公園事務所の職員、2015年の来道研修から事業に参加